

吹奏樂部が野外ステージの演奏で風
チラ。動画と画像を撮影された話。

私は高校 2 年で吹奏樂部に所属しています。
吹奏樂部はいろんなコンクールに出たり、地域
のイベントに呼ばれて演奏することがあります。
その日は、地域のイベントで演奏しました。
そのイベントには毎年、吹奏樂部が出演してお
り、私も去年も出ました。

会場は大きな公園に作られた仮設の野外のス
テージでした。

私たち吹奏樂部は 12 分ほどの演奏時間でそ
こで演奏することになりました。

そのステージではイスを用意できないというこ
とで、全員立ったままでの演奏でした。

29 人の部員がステージで立って演奏するの
ですが、私は一番前の列でした。

だいたい 3 列か 4 列くらいに並んで演奏しま
す。

私はフルートを担当しています。

私たちの出番がきました。

譜面台は用意されていたので、各自、譜面と
樂器を持って、自分の位置につきました。

その日は、風が強かったので、樂譜が飛ばさ
れないようにクリップでしっかりと止めておく
必要がありました。

自分の位置について、客席の方を見てみると、
けっこうな数のお客さんが来ていました。

ステージは台が設けられていて、一段高い位

置にあります。

ステージからは観客たちを見下ろすような格好になるのですが、ざっと見て、50 人くらいはお客さんが来ているようでした。

かなり大きな本格的なカメラを構えている人も何人かいました。

風がきつかったので、何度かスカートが舞い上がりそうになっていました。演奏中は両手でフルートを持つので、スカートを手で押さえることはできません。

演奏中に風が強く吹かないでほしいなと思っていました。

司会の方にうながされて、部長がまず挨拶をして、私たちの演奏が始まりました。

1 曲目は『ブルースプリング』という曲でした。

吹奏楽コンクールでも演奏した曲なので、演奏は慣れているのですが、立ちながらの演奏ということで少し不安がありました。

大きな拍手が会場から沸き起こり、私たちの演奏がスタートします。

演奏自体は問題はなかったのですが、何度か風でスカートがふわりと上に上がりました。

めくり上がることはなかったのですが、スカートが上に上がる瞬間は少しどきっとしました。

気のせいかもしれないのですが、スカートがめくれ上がりそうになった瞬間にフラッシュが瞬いたような気がしたからです。

でも、私は今は演奏に集中しようと思いました。

その後、司会の方と、部長と副部長が少し話をする時間がありました。

今までの活動やコンクールでの受賞経験や、普段どんな練習をしているかなどと、司会の女性が部長と副部長に聞いていきました。

その間にも、風がかなり強くなってきていました。

フルートを片手に持って、話を聞いていたのですが、何度かスカートがめくれ上がりそうになりました。

フルートを持っていない左手でスカートをおさえたのですが、もしおさえなかったら、完全にめくれ上がるんじゃないかというくらいの強風でした。

私はパンツの上にスパッツを履くこともあるのですが、その日はスパッツは履いていませんでした。

スカートがめくれてしまうと、パンツが見えてしまいます。

スパッツを履いてこればよかったなと思いました。

司会の方との話が終わり、ようやく2曲目がスタートしました。

2曲目もコンクールで何度も演奏している曲なので演奏に不安はありません。

ただ、風が心配でした。

心なしかさらに強くなってきている気がします。5分ほどある2曲目の最初の2分くらいは風はそれほど強くなく、何ごともなく演奏できていました。